



農家の母さんの知恵を伝えて 20 年

1/23 豊科農村女性学習会 20 周年記念式典

豊科地域の農家の女性で構成する豊科農村女性学習会（横川英子会長）の設立 20 周年記念式典が 1 月 23 日、豊科南穂高のビレッジ安曇野で行われました。この日は会員 40 人が参加。式典では、会員の皆さんが、受け継いできた安曇野の風習や伝統食、農家の暮らしをまとめた記念誌「続・伝」も披露されました。同会では、農家の知恵や伝統食などを後世に伝えようと、小学校や児童館などと協力し、子どもや若い母親を対象に農業体験や講習会などの活動に取り組んでいます。

横川会長は「これからも安曇野の伝統食の良さや農家の知恵を子どもたちや若い世代に伝えていきたい」と話しました。



安曇野検定 難問に挑戦

1/25 安曇野検定

市の成り立ちや自然・歴史・文化伝統等を学び、地域の魅力を再発見するため、「安曇野検定」(市教育委員会主催)が 1 月 25 日、市内 2 会場で行われました。4 回目となる本年は一般の部（上級編、基礎編）、ジュニアの部に分かれて実施され、一般の部 117 人、ジュニアの部 21 人が受験しました。当日の問題および解答は市ホームページに掲載しています。

区の役割を明確化 マニュアル作成

1/20 市区長会・区マニュアル完成市長報告

市区長会（田村浩会長）では、市内に 83 区ある区の定義や活動のあり方などをまとめた「区マニュアル」を作成し 1 月 20 日、県安曇野庁舎で宮澤市長に報告しました。

区マニュアルの作成は、平成 25 年度から検討を進め、区長アンケートなどの結果を基に役員選出や加入促進などの区が抱える課題を分析し、区の定義や役割、規約、予算・会計処理の方法なども盛り込んでいます。

田村会長は「区長や役員が実際の区の運営に役立つだけでなく、区民や転入してきた人にも区の重要性や活動について分かるように配慮した」と内容を説明。宮澤市長は「市と対等のパートナーである区が活発に活動できることが、市全体の活力につながる」と期待を寄せました。

市区長会では、市民向けに区マニュアルの概要版を配布する予定です。



完成した区マニュアル

防火・防災の決意を新たに

1/18 市消防団出初式

市消防団出初式が 1 月 18 日、安曇野スイス村サンモリッツで行われ約 400 人の団員が参加しました。団長の寺畑佳司さん（穂高有明）は、式辞の中で「地域と連携しながら防災力向上と団の活性化に積極的に取り組み、住民の期待に応えたい」と決意を述べました。

式典では、無火災表彰や功績のあった団員への表彰、退団者表彰が行われました。式典後、分列行進が会場周辺で行われ、音楽喇叭隊の行進曲に合わせて団員と消防車両 21 台が行進を披露しました。



商店街活性化に向けて

1/23 豊科まちづくりグループ・まちづくり勉強会

豊科地域の商店主や地域住民などで構成する豊科まちづくりグループ（川井敏克会長）では、商店街活性化に向けた勉強会を 1 月 23 日、県安曇野庁舎で行いました。

この日は約 60 人が参加。講師の国立長野高専教授の柳沢吉保さんが、長野市権堂地区での食べ歩き・飲み歩きイベント「ゴンバル」などの先進事例を紹介しました。同グループでは、新本庁舎建設を機会に、かつて「豊科銀座」と呼ばれた商店街ににぎわいを取り戻そうと取り組んでいます。川井さんは「飲食店が多い特徴を生かし、来て楽しい元気なまちにしていきたい」と話しました。



そば打ち交流を続けて20年

1/21 東金市・安曇野市絆の会へ感謝状贈呈

東金市・安曇野市絆の会（一志和恵会長）が、昨年 11 月、東金市市制施行 60 周年記念式典で感謝状を贈られ、受賞を祝う会が 1 月 21 日、小田多井交流センターで行われました。祝う会には、宮澤市長や志賀直温東金市長など関係者約 70 人が出席。一志会長は「今後は、安曇野の子どもたちも東金市を訪れて絆をさらに深めたい」とあいさつしました。

絆の会では、平成 6 年から安曇野を訪れる東金市の子どもたちとそば打ちや農業体験などを通じて交流を深めています。